

Withコロナ時代の新しい富士登山マナー

①から⑦は登山前（事前の計画）から、⑧から⑮は登山中（現地での行動）のご協力をお願いします。

- 1 発熱・症状があるときは登山を行わない**



※コロナ禍の救助活動は時間もかかり、救助者への負担も大。必ず万全の体調で
※持病がある方や年齢等で健康不安のある方は入山をやめましょう
- 2 なるべく住居を共にして
いる人と少人数で登山**



※大人数の場合、少人数のグループに分かれて行動しましょう
- 3 混雑する日や時間帯を避ける**



※「混雑予想カレンダー」を活用しましょう
※山頂からのご来光は密になりがちです
山小屋付近からもご来光を楽しめます
- 4 山小屋は必ず事前に予約**



※山頂でご来光を見たい方は必ず予約をしてください
※富士山ではテント泊は禁止です
- 5 宿泊をとまなわない
ご来光目的の夜間登山
は行わない**



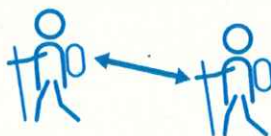
※安全な登山と山頂での密回避のためです
- 6 最新情報をよく確認し、
安全に配慮した余裕の
ある登山計画を立てる**



※富士登山オフィシャルサイトを必ず確認
※感染対策を行いながらの登山は平時よりも時間がかかります
- 7 感染対策グッズを準備**



※1日2回以上
※夜間に位置を知らせて密回避
※ゴミ・吐物入れ用
- 8 同行者以外の人とは
ソーシャルディスタンス
を確保**



※距離を確保する際、登山道からは絶対に外れないこと（落石のおそれあり）
- 9 必要に応じて、マスク
や手ぬぐいなどで鼻と
口を覆う**



登山道でのすれ違い 屋内の公共施設
距離が確保できないとき
- 10 登山道の渋滞時には
交互登下山に協力を**



※安全誘導員がいる場合は、その指示に従いましょう
- 11 呼吸を荒らげないよう、
無理のない自分のペース
を維持**



※激しい呼吸は唾夜の飛沫が増えます
※無理な追い越しはやめましょう
- 12 同行者以外との物品の
共有、杭やロープへの
接触は避ける**



※杭やロープは登山道を示すものであるため、絶対に触れないでください
- 13 トイレや売店を利用した後は、必ず手指消毒**


- 14 ゴミや吐物は密閉式の
袋に入れて持ち帰る**



※感染拡大の観点から密閉が必要です
- 15 体調不良時等は速やかに登山を中止して下山**



※該当者との濃厚接触者も、症状の有無にかかわらず下山してください
※天候悪化が予測される場合、登山を中止

詳しい情報はこちら

富士登山 コロナ対策

検索



With コロナ時代の新しい富士登山マナー（詳細版）

登山前

1. **健康不安のある方は、入山について十分に検討しましょう。また、発熱や症状があるなど体調が優れない場合は、登山を行わないでください。【体調管理】**

基礎疾患（＝持病）（呼吸器疾患、心疾患等）を有する場合や、年齢等による高所登山への健康不安がある場合は、高所の低酸素が症状を悪化させること、マスクの着用が困難になること、高山病との区別が難しいことから、事前に医療機関で富士登山に関するアドバイスを得てください。

また、登山前2週間と登山当日に以下の項目のうち一つでも当てはまる場合は、登山を中止してください。

- 37.5度以上 または 平熱比+1度以上の発熱がある
- 安静時、頻呼吸（24回／分以上）を伴う息苦しさ（呼吸困難）がある
- 強いだるさがある
- 咳がある
- その他体調が優れない
- 感染確定者あるいはその濃厚接触者と接した
- 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域へ訪問した、または当該在住者と濃厚接触した
- 政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域から、または経由して日本に到着した（運用時の空港検疫の方法等により対応を決定する）

新型コロナウイルスに感染すると、無症状の場合でも急激に呼吸器官などの症状が悪化し、生命に危険が及ぶこととなる可能性があるため、健康不安がある方、または、体調が優れない方は、絶対に登山をしないでください。

また、コロナ禍の遭難救助は、防護対策等により例年に比べて時間がかかるとともに、救助活動者に大きな負担をかけることになりますので、万全の体調で登山を行ってください。

2. **（なるべく）住居を共にしている人と、少人数での登山を計画しましょう。大人数で登る場合は、少人数のグループに分かれて行動しましょう。【密集・密接回避】**

以下を確認し、同行者の人数や構成メンバーに合わせた感染対策を行いましょう。

※この登山マナーは、主に同行者（登山を実施するひとまとまりの団体、あるいは個人）以外との感染防止を目的として作成しています。同行者間における感染対策については、各自の責任において実施をお願いいたします。

- 同行者は、住居を共にしていることが最も望ましい。この場合、同行者間での感染対策は不要
- 同行者が社会活動を近しくしている場合（例：同じ職場、同じ学校や部活動等）は、平素の対策

ご来光を目的に登山を行う場合には、事前に山小屋を予約し、無理のない登山を行いましょう。

6. 最新情報をよく確認し、安全に配慮した余裕のある登山計画を立てましょう。【安全管理】

感染対策を行いながらの登山は時間がかかります。富士登山オフィシャルサイトや各山小屋 HP 等で登山道や山小屋の情報を十分に確認した上で、自分の体調や体力、登山ルートごとの所要時間等を十分に考慮し、平時より余裕のある登山計画を立てましょう。

登山計画を立てるにあたっては、追跡調査対応のため、同行者全体の責任者を配置し、責任者はすべての参加者の氏名・住所・連絡先を把握してください。参加者からも、責任者に連絡が取れるようにしておきましょう。また、下山後 2 週間以内に新型コロナウイルスに感染していることが判明した場合には、責任者に連絡してください。

登山状況は常に変化する可能性があるため、出発前にも改めて最新情報を確認してください。

富士登山オフィシャルサイト <http://www.fujisan-climb.jp/>

7. 感染対策グッズを準備しましょう。【衛生管理】

登山中の感染対策として、以下のものを持参してください。山中で必要な持ち物は各自で用意し、同行者以外の人とは物品を共有しないようにしましょう。

- マスクや手ぬぐいなど（雨や霧で濡れた場合の替えを含め、1 日 2 枚以上）
- 密閉式保存袋（ゴミ・吐物入れ用。感染防止のため、密閉できる袋であること。市販の凝固剤入りエチケット袋は中身も透けず、臭いも防げる。）
- 携帯用の手指消毒剤*

*新型コロナウイルスの消毒に有効とされている以下のものを含有する製品を推奨

a. 70%以上のアルコール

b. 0.05%以上の塩化ベンザルコニウム液（一般名：逆性石けん）

- ヘッドライト（夜間にソーシャルディスタンスを確保しやすいよう、自分の位置を知らせる役割）

※ 山小屋に泊まる方は、上記に加え、山小屋の案内に従って必要な持ち物を持参しましょう。

登山中

8. ソーシャルディスタンスを確保しましょう。【密集・密接回避】

同行者以外の人とは、ソーシャルディスタンスを少なくとも 2m 確保してください。会話を控え、ソーシャルディスタンスが確保できない場合や登山道でのすれ違い時には、原則、手ぬぐいやマスクなどを利用してください。

なお、ソーシャルディスタンス確保のために登山道を外れて登山を行うことは絶対に止めてください。落石を起こし、下を歩く登山者に怪我等を負わせるおそれがあります。

9. 必要に応じて、マスクや手ぬぐいなどを利用しましょう。【密集・密接回避】

口と鼻を覆うマスクや手ぬぐいなどの着用は、原則以下の場合に行ってください。

- 屋内の公共施設（トイレ、売店、休憩所等）

- その他体調が優れない場合
- 天候悪化が予測される場合

また、上記に該当する者との濃厚接触の恐れのある人も、症状の有無にかかわらず、下山してください。

コロナ禍の遭難救助は、防護対策等により例年に比べて時間がかかるとともに、救助活動者に大きな負担をかけることとなりますので、体調のさらなる悪化を防ぐため、速やかに下山してください。